【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公開番号】特開2009-206307(P2009-206307A)
【公開日】平成21年9月10日(2009.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2009-036
【出願番号】特願2008-47311(P2008-47311)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｆ　17/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｆ　27/28　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　27/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/822　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｆ　17/00　D
Ｈ０１Ｆ　27/28　K
Ｈ０１Ｌ　27/04　L

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月7日(2011.2.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の層を挟む第２の層及び第３の層のうち、前記第２の層中に形成されている渦巻状の第１の巻線本体と、当該第１の巻線本体の両端部のうち中心側の端部を起点として外側の端部に向けて前記第１の層中に延在する第１の配線とを有する不平衡型の第１の巻線と、
前記第３の層中に前記第１の巻線本体と対向して形成されている渦巻状の第２の巻線本体と、当該第２の巻線本体の両端部のうち中心側の端部を起点として外側の端部に向けて前記第１の層中に延在する第２の配線とを有する不平衡型の第２の巻線と、
前記第２の巻線本体の全体を覆うように形成されている第１の磁性体分散樹脂と、
前記第１の巻線本体の前記中心側の端部の近傍に形成されており、前記第１の磁性体分散樹脂に繋がっている第２の磁性体分散樹脂と、を含むことを特徴とするインダクタ。
【請求項２】
前記第１の巻線本体と前記第２の巻線本体とは、互いに平行な状態で対向していることを特徴とする請求項１に記載のインダクタ。
【請求項３】
前記第１の巻線に不平衡型の信号が入力され、前記第２の巻線から不平衡型の信号が出力されることを特徴とする請求項１又は２に記載のインダクタ。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか一項に記載のインダクタを有することを特徴とする半導体装置。